

< 館長報告 >

館長 土井 承夫 (どいよしお)

拝啓。福庭公民館加入全世帯の皆様、いよいよ令和元年も10月に入りました。10月は「神無月(かんなづき)」と申します。この意味は全国の神々が出雲大社に集まって、その土地土地の神が留守になっていなくなるという信仰からきています。さて、順調に進んでいる公民館新築計画も佳境に入って参りました。

<重要>8月22日に倉吉市役所より、今般の福庭自治公民館新築の財源の根幹をなす令和元年度の「コミュニティー助成事業補助金申請書」が届きましたが、先月9月中旬に考える最高の内容を記述した回答書を倉吉市に提出致しました。平成30年(2018年)4月から17か月にわたって蓄積してきた沢山の客観的データを存分に駆使した内容です。執行部としては「人事を尽して天命を待つ」の心境であります。

<参考>福庭の受験生の皆さんへ…今年の「館長報告」1月号に倉吉北高校合唱部員への話として「人事を尽して天命を待つ」の英語訳を記しています。それは
“Do the all means and God will give the blessing.”です。覚えておきましょう!

<福庭自治公民館新築特別寄附金(自主的な寄附)の集計状況>

住民の皆様からの上記の自主的な寄附金の集計状況をこの後もこの館長報告でお伝えしていきます。ご寄附は新公民館が完成する来年2020年12月31日まで受け付けます。受け付け窓口は館長の私、土井承夫です。(26-0770、携帯080-4261-1979)お電話を下されば、ご持参いただかなくとも私が戴きに参ります。

*令和元年(2019年)9月30日(月)現在の集計結果(総計)は次の通りです。

- (1) 寄付頂いた世帯数: 133世帯 (全体の約48.7%)
- (2) 寄附金の合計: 404万円

(3) 個々の寄付金額の概要: 最高額: 30万円(1名)、
25万円(2名:1名は福庭、もう1名は福庭以外の方です) 10万円(12名)
5万円(10名)、3万円(17名)、2万円(12名)、1万円(78名)他

- (4) 今回は寄附を見送られた世帯数: 140世帯

<館長の行動日誌> (9月分)

- 9月1日(日) 上井地区球技大会開催。G.Gの部に参加した。結果は報告済み。
午後は倉吉未来中心で鳥取県オーケストラ連盟の演奏会を鑑賞。
ハイドンの交響曲「驚愕」には感銘を受けた。その後、鳥取市で
開催された母校大学定期総会及び懇親会に出席。
- 9月5日(木) 三男の五回目の命日。早朝、家内と墓に参る。生きていれば今30歳。
午前中、老人会・福寿クラブの理事会に出席。夜は混声合唱団「みお」
の定期練習に参加。
- 9月6日(金) シルバー倉吉の敬老会に来賓として出席。主賓の挨拶を行った。日本海
新聞に掲載された「住みやすさランキング」で倉吉市が全国815都市中
第5位になった内容を中心に人生の大先輩たちへエールを送らせて頂いた。
それに続く昼食会、お茶会にも参加した。(挨拶の原稿を巻末に添付)
- 9月8日(日) 以前にも報告したキューバの社交ダンス「サルサ」の練習に参加(リフレ
プラザ)高校同級生の三好昭生君の指導を受ける。ダンスには絶望感を
持っていたが、この日は予想外にステップに進歩があり三好君から
お褒めの言葉を貰って少し明るい気持ちになれた。
- 9月11日(水)～13日(木)の3日間、倉吉市老人クラブ連合会(市老連)主催の2泊
3日の旅行に参加。今年より市老連の上井地区担当の研修委員に就任したので強制的
に参加という事になった。このツアーは日ノ丸観光トラベル倉吉営業所
(海田西町)の企画・実施のもので東本静美所長、天野重利担当部長が
全行程添乗しお世話下さった。1日目は三重県方面(長島温泉泊)2日目
は岐阜県、滋賀県方面(おごと温泉泊)で福庭からは毎年参加されてい
る3名の男性と私の4人が参加し楽しい時間を過ごした。余計な話です
が初日の9/11は私の64歳の誕生日でした。同じこの日が誕生日の有
名な方には、恐れ多くも賢くも秋篠宮紀子妃殿下と俳優からは泉ピンコ
さんがいらっしゃいます。
- 9月15日(日) 3月に97歳で亡くなった義母の墓参りに広島県庄原市まで車で行く。そ
の日の内に倉吉に帰った。(関金～湯原～米子道～中国道～庄原IC)
- 9月17日(火) 倉吉市G,G大会(大御堂廃寺記念公園)に参加。この日の夜、
生放送されたNHK総合「うたコン」の中村雅俊「ふれあい」のバック
コーラスに私の大学母校混声合唱団が出演したのでテレビに集中した。
- 9月18日(水)～19日(木)上井地区振興協議会(兼自治公協議会)主催の「まち
づくり視察研修旅行」に参加し愛媛県宇和島市立吉田公民館を訪問した。
この地区は2年前に大水害を経験したが公民館主導でそれを克服した経験がある。

そのお話は非常に参考になった。その後は松山城や帰り道にある来島海峡急流（うずしお）の見学をして帰路についた。2日間とも快晴のお天気に恵まれた。

9月22日（日）打吹回廊で開催された地域の音楽の催しに普段から家電製品関係でお世話になっている K 氏がロックバンドのベースギター担当で出演されるというのでその演奏を前列かぶりつきで鑑賞した。寺内タケシバンドやベンチャーズを連想するかなり上手な演奏に少し体を揺らして聴き入った。

9月24日（火）ウィーンの森の音読会（倉吉福祉センター周辺の年配の女性を中心に運営されている月一度の音読会）に参加。杵島和江 鳥取県寡婦福祉連合会理事長が主導されている。「ウィーンの森」と命名したのは私。この名前をつけたからには生涯のうちに必ず今のメンバーでウィーンに行くと二人で誓っている

9月25日（水）河北 G.G 同好会メンバーによる河北中央公園の草とり作業に参加した。

9月27日（金）～29日（日）の3日間、東京へ行く。「県民による第九」倉吉公演事務局長として17日のNHK「うたコン」に出演した母校混声合唱団が「第九演奏会」を挙げるのでそれを鑑賞するのが目的だ。演奏会は28日（土）夜、練馬文化センターで行われたが、その前日27日（金）の午後、三田キャンパスの学生食堂でその合唱団幹部4人と意見交換会をすることが出来た。私は彼らの40年先輩にあたり21～22歳の若者にどんな話をしたら良いか少し戸惑ったが話してみるとどんどんトークが弾んであっという間に1時間が経ったあと別れを惜しみながら若者たちは翌日の本番のため日吉の練習場へ向かった。部長、副部長（女子）、学生指揮者、次期部長の4名だったが、懐かしい「山食（やましょく）」と呼ばれる昔からの激安メニューの学生食堂で何かフレッシュでセンチメンタルな気分になってしまった。翌日28日（日）は午前中、東京在住で小中高同窓で1学年後輩の K 君の案内で池袋・要町の名曲喫茶「ショパン」でお茶した。都内のクラシック名曲喫茶はもう10店ほどになってしまったそうだ。店主の宮本英世さん（82歳）は日本でも有名なクラシック音楽の評論家でNHK「ラジオ深夜便」にも出演されている。

著書も多く店内に並べてあったその中の二冊のクラシック解説本を買ってしまった。店内には有名音楽家の来店記念のサイン色紙が多く飾ってあったが中にはあの世界一のフルート奏者とも言われたジャン・ピエール・ランパルのものもあった。

夜、その第九本番を聴いたが、合唱は混声（先輩には小林亜星、林光、若杉弘など）男声（先輩にはダークダックス等）、女声（歴史は60年以上）合同の130名、オーケストラは大学公認の学生オーケストラ110名の総合計240名だった。聴いた印象は少しテンポの速いキビキビした演奏で合唱団の起立・着席もものすごく早くその事が全体の気を引き締めていた。とくに感銘を受けたのは、合唱団は全員暗譜で歌っていたがシラーのドイツ語の歌詞の意味をよく理解した上でドイツ語をまるで自分の母国語でしゃべる様な感じで

歌っていたのには感銘を受けた。また、私を含む年配者主体の合唱団にはない透明感の
充滿した響きは西洋の教会の聖歌隊の様な雰囲気もあって上京してまで聴きにきて本当に
良かったと思った。(勿論今回も交通費等は私費で支払っております) 以上

*<ちょっと一服コーナー>もお休みし新シリーズ「心に残った一曲」第4弾
を掲載します。

～ 新シリーズ「心に残った一曲」(第4弾) ～演歌編～

川中美幸の「笑売繁昌」(しょうばいはんじょう)

(作詞：もず唱平 作曲：弦 哲也)

人間には悲しい事が多いさかい 神様が笑う事を教えてくれはったんや
泣いたあとは 笑うて帳消しにせなあかん!

ひとりぼっちになった時 笑わなあかんと“時うどん”
汗を掻き掻き聴かせてくれた 笑売繁昌 今度はうちが
あんたの為に あんたの為に 願かける

何にも心配せんでええ、 うちがついてるやないか
芸ひとすじに 頑張りや!
笑う門には福来る その福逃がさず盛り上げて
涙封じて世間を渡る 笑売繁昌 人氣が支え
ごひいき様が ごひいき様が 頼りです

<感想> 最初の2行は今までずっと申し上げてきた「人生山あり谷あり」「悲しみがあるから喜びがある」「別れがあるから出会いがある」「夜の向こうで朝が待ってる」「凍えた冬の分だけ心が春になる」という事です。そして大切なのはいつも「笑顔」でいたいということでもあります・・・でも、この歌詞を読んで私がもっとも考えさせられたのは最後の行の下線の部分です。「ごひいき様」って勿論色んな商売上の「お得意様」の事ですしそれが頼りなのも当たりまえの事です。然し、私の勝手な解釈ですが「ごひいき様」とは単に商売上だけの事ではなく自分を支えてくれる全ての人たち・・・つまり家族である「両親」「兄弟」「妻や夫」「子どもたち」そして親友、恋人、恩師、先輩、後輩など自分を取り巻くサポーターの皆様すべての方たちの事だと思っております。いままで公民館新築計画を進めてこられたのも更にここまで生きて来られたのもこういう皆様のお陰でありこれからは頼りにさせて頂きたいです。今日からも全ての「ごひいき様」に感謝しながら進んで参ります・・・・・・以上

<資料>

2019年9月6日（金）シルバー倉吉「敬老会」主賓挨拶原稿

(2019/09/06 福庭自治公民館長 土井承夫 作成)

皆様、こんにちは、福庭自治公民館長の土井承夫でございます。

本日はこの敬老会にお招きいただいた事に感謝致しますと共に皆様のご長寿を心よりお祝いし末永いご健康を願うものであります。

わたくしどもが、健やかで幸せに日々の生活を営むことができますのも、皆様のこれまでの長年にわたる格別なご尽力の賜物と感謝申し上げ、ここに厚く御礼申し上げる次第であります。

先日の新聞報道によると、東洋経済社の調査でここ倉吉市は全国 812 の都市のなかで「全国住みよさランキング」第 5 位になったそうです。これは「安心度」と「利便度」で高い評価を受けたからです。倉吉市は病院のベッド数やこのシルバー倉吉を含む介護医療や介護福祉の施設が充実しており犯罪数も少なくまさに皆様にとっては全国でもっともご老人が住みやすい街の一つとなりました。この事をまず皆様と共に喜びたいと思います。

ところで、このシルバー倉吉は社会福祉法人「敬仁会」が運営する 15 の介護施設、保育所、老人ホームの内の一つで、先日別件でこの敬仁会会長の藤井省三様に会長室でお会いする機会があり面談させて頂きました。どんな怖い怖い方かと緊張していましたが、来年傘寿（80 歳）を迎える省三先生の笑顔と視線からは十分すぎる程の優しさと慈しみの心を感じ取ることが出来ました。その意味からも皆様はこのホームに入られて本当に幸せだと思えます。勿論こちらのスタッフの皆様も優秀でいい方ばかりであることは皆様がよくご存じだと思えます。

ご挨拶が長くなりましたね。申し訳ありません。

それでは、ここにお集まりの皆様方が、いつまでもお健やかで、楽しい毎日をお過ごし頂けます様祈念致しまして、私の挨拶の言葉とさせていただきます。

本日は、おめでとうございます。